

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

令和6年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

(1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。

令和6年度は、生活支援コーディネート事業と生活支援サービス事業において、買い物や通院など日常生活に支障のある高齢者の生活を支えるため、生活支援、外出支援ボランティアの養成講座を実施し、新たな福祉人材の育成を行いました。

(2) 事業内容

1 理事会

- 第1回 健康福祉センター(6月7日)
- ・令和5年度事業報告・決算について
 - ・令和5年度善意銀行決算について
 - ・令和6年度補正予算について
 - ・経理規程の一部改正について
 - ・事務権限規程の一部改正について
 - ・評議員会の招集について

- 第2回 健康福祉センター(1月18日)
- ・上半期収支状況について
 - ・介護支援事業所の運営について

- 第3回 健康福祉センター(3月18日)
- ・令和7年度事業計画・予算について
 - ・令和7年度善意銀行予算について
 - ・評議員会の招集について

2 評議員会

- 第1回 健康福祉センター(6月23日)
- ・令和5年度事業報告・決算について
 - ・令和6年度補正予算について
 - ・経理規程の一部改正について
 - ・役員、評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について

- 第2回 健康福祉センター(3月26日)
- ・令和7年度事業計画・予算について

3 監事の監査

- ・決算監査 令和6年5月24日(金) 健康福祉センター
- ・中間監査 令和6年12月20日(金) 健康福祉センター

4 居宅介護事業

訪問介護・予防訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

- 訪問介護 延 219人 1804回 (前年204人 2031回)
- 障害者居宅 延 63人 292回 (前年 54人 140回)

5 心配事相談所の開設

- (1) 開催期日 毎月15日 午前9時から午後3時
- (2) 開催場所 南伊豆町健康福祉センター
- (3) 相談員 福原ふくよ 大島明利 平山さち子
- (4) 身障相談員 竹河十九巳

6 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して15地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月14日	青市・蛇石	42	1月17日	二条・加納・手石	31
11月19日	大瀬	33	1月20日	市之瀬・毛倉野	36
11月22日	上賀茂・石井・下小野	53	2月7日	仲 木	32
12月12日	下賀茂・湊	50	2月21日	下 流	69
合 計					361

協力者 JA 富士伊豆ボランティアグループ「ゆけむりの会」

7 ボランティア育成事業

- (1) ボランティア活動保険への加入230名(災害ボランティア保険35名)

- (2) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。毎月1回定例会を開催。

- 6月22日 講演会「伊豆半島沖地震体験談」萩原作之 氏
「能登半島地震現地活動報告」下田消防本部職員
- 9月19日 近隣市町避難タワー・修善寺ジオリヤ視察研修
- 2月 9日 災害VC養成講座(受講者4名)

8 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で生活に困窮する世帯を対象に緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付を実施した。

(3月末時点貸付件数)
 生活福祉資金貸付件数 2世帯2件 134万円
 緊急小口資金特例貸付 18件 248万円
 総合支援資金特例貸付(延長・再貸付含む) 18件 834万円

9 日常生活自立支援事業

生活支援員を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

令和6年度利用者数 1名 支援回数延べ 12回

10 募金活動

(1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金(34区)	1,025,500円
	街頭	9,169円
	その他	8,784円
	合 計	1,043,453円

(2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金(34区)	1,020,000円
	個人募金・その他	24,902円
	合 計	1,044,902円

* 歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	15世帯	255,000円
寝たきり高齢者	6人	30,000円
重度障害者	44人	132,000円
施設入所者	101人	303,000円
合 計		720,000円

11 生活困窮者自立相談支援事業

県内12町社協、県社協、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

令和6年度新規相談受付件数 10件

12 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季5日間 延26人参加 冬季3日間 延15人参加
 平日37日間 延273人参加

1 3 居場所「にじいろ」の運営

子供からお年寄りまで自由に集える場として、下賀茂の空き店舗を利用し実施。

開催日 毎週水曜日

時 間 午後2時から午後4時

開催回数 39回 延136人参加

1 4 成年後見事業

賀茂地区1市5町社会福祉協議会で成年後見業務協定を締結し、市民後見人養成講座を開催した。法人後見への取り組みも推進し、後見類型3件、保佐類型2件を受任し後見業務を行った。

また、成年後見制度に関する広報、啓発活動や、制度に関する相談への対応を行った。

1 5 生活支援・外出支援事業

日常生活で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実強化を図った。

(1) 個人ボランティアによる支援

年間活動日数243日 利用延べ人数478人(実人数27人)

目的 買い物(349回) 通院(94回) 金融機関(98回) 役場(20回)

生活支援(60回) その他(8回)

(2) なのはな号による支援

年間活動日数48日 利用延べ人数189人(実人数5人)